

## 市民アンケート調査結果の概要

## (1) 調査の概要

## ① 調査対象者

## ● 一般市民

・平成 23 年 9 月 30 日現在の八代市に居住する満 20 歳以上の市民を対象として、3,000 人を住民基本台帳から無作為に抽出した。

## ② 調査期間:平成 23 年 10 月 25 日(月)～11 月 4 日(金)

## ③ 回収状況

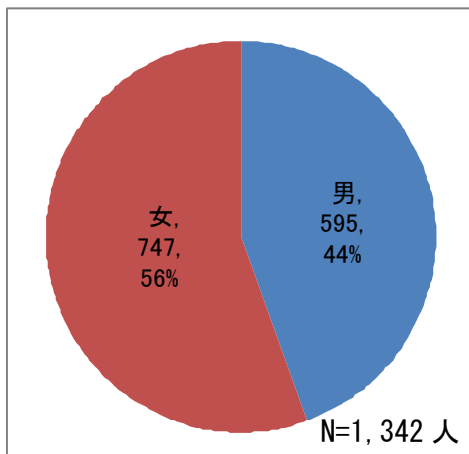
|      | 配布数     | 回収数     | 回収率   |
|------|---------|---------|-------|
| 一般市民 | 3,000 票 | 1,346 票 | 44.9% |

## (2) 回答者の属性

## ① 基本属性

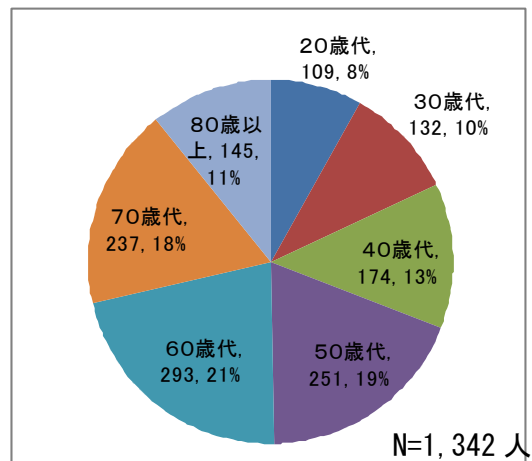
## ● 性別

・女性が約 6 割、男性が約 4 割であり、女性の回答者が多い。



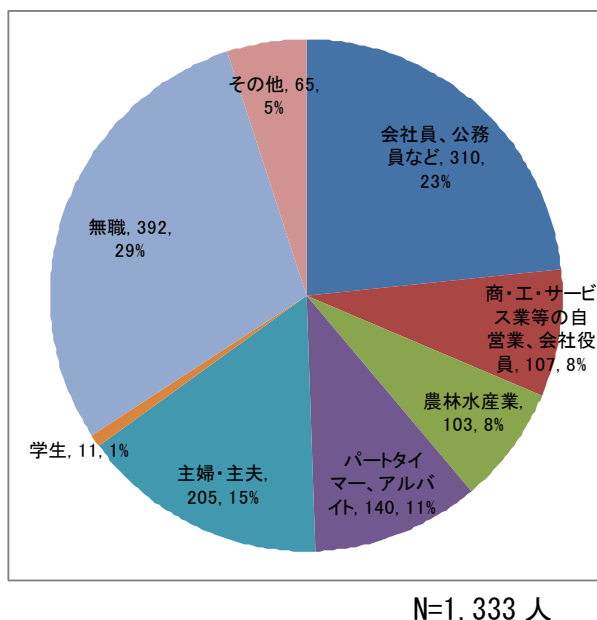
## ● 年齢

・年齢層については、60 歳代が最も多く、次いで 50 歳代、70 歳代となっている。  
・最も少ないのは 20 歳代である。



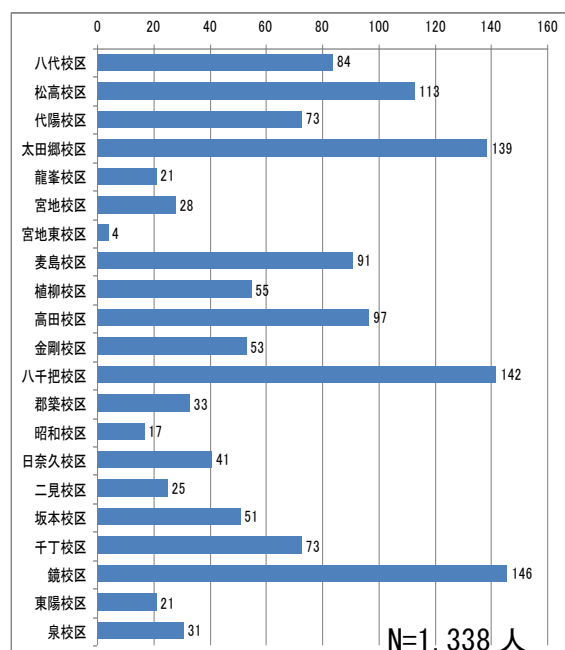
## ● 職業

・職業については「無職」が一番多く、次いで、「会社員・公務員」である。  
・最も少ないのは、「学生」である。



## ● 居住地

・住まいについては、「鏡校区」が一番多く、次いで「八千把校区」、「太田郷校区」である。  
・最も少ない校区は「宮地東校区」である。

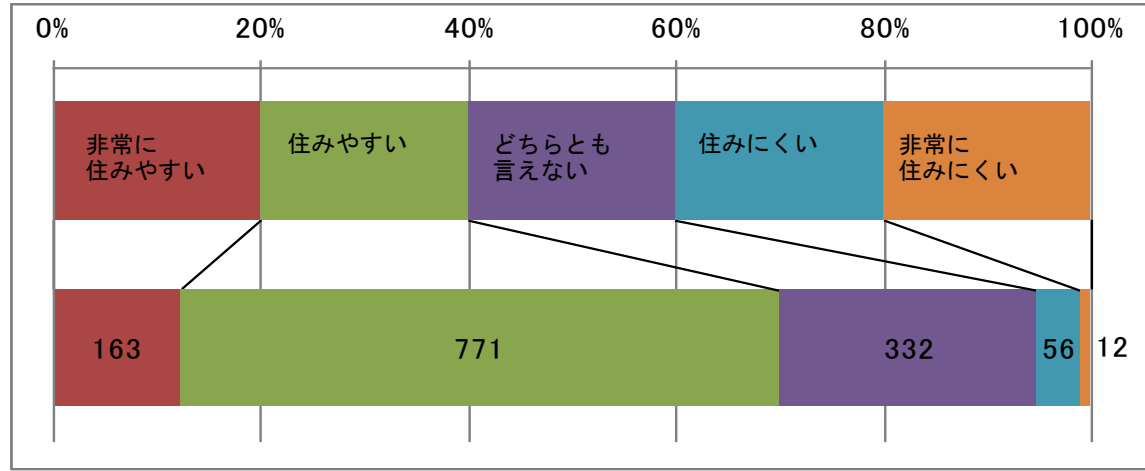


(3) 調査結果

① 現状評価

1) 住みやすさ

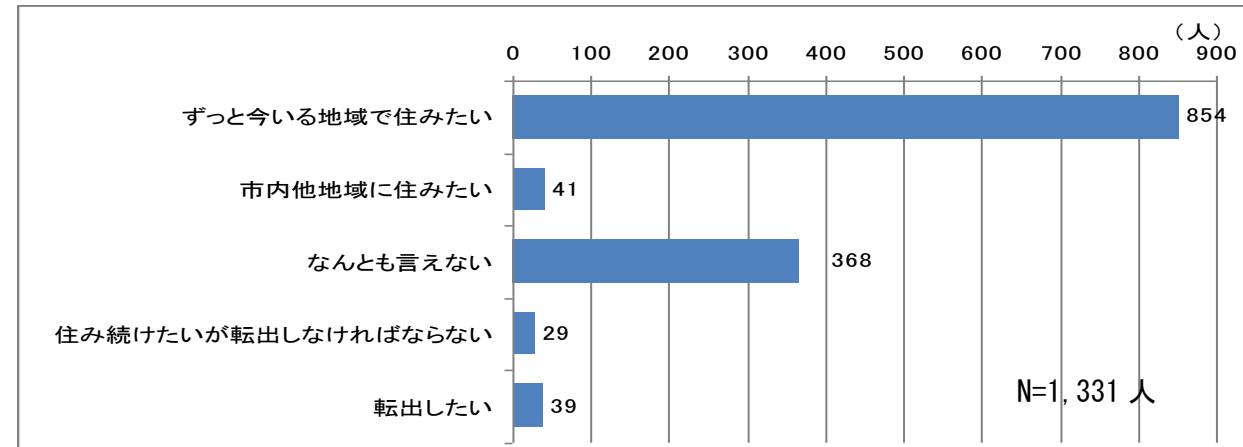
- ・「非常に住みやすい」と「住みやすい」を合わせると、約7割の方が住みやすいと感じている。
- ・八代は住みやすいと感じているのは3分の2にとどまる。



N=1,334人

2) 居住意向

- ・「ずっと今いる地域で住みたい」が最も多く、「市内他地域に住みたい」を合わせると、約7割が今後も住み続けたいと思っている。
- ・八代市からの転出意向は弱い、定住意向も大多数を占めるに至っていない。

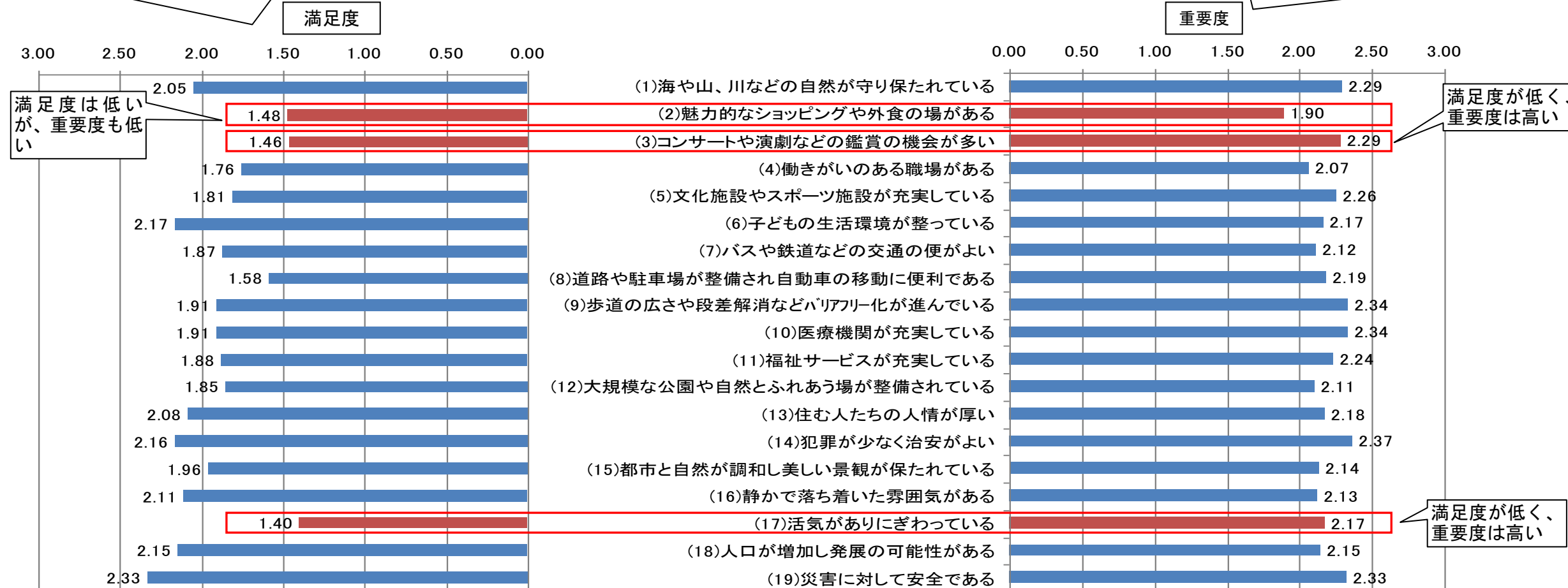


N=1,331人

3) 暮らしやすさの満足度と重要度

- ・満足度は比較的低く、特に低いのは「活気がありにぎわっている」、「魅力的なショッピングや外食の場がある」、「コンサートや演劇などの鑑賞の機会が多い」となっている。
- ・八代市で暮らす上での満足度は低く、娯楽の場の充実や活気に不安を感じている。

- ・重要度で高くなっているのは、「犯罪が少なく治安がよい」、「歩道の広さや段差解消などバリアフリー化が進んでいる」、「医療機関が充実している」である。
- ・八代市で暮らす上で、安全に対する取り組みへの重要度が高い。

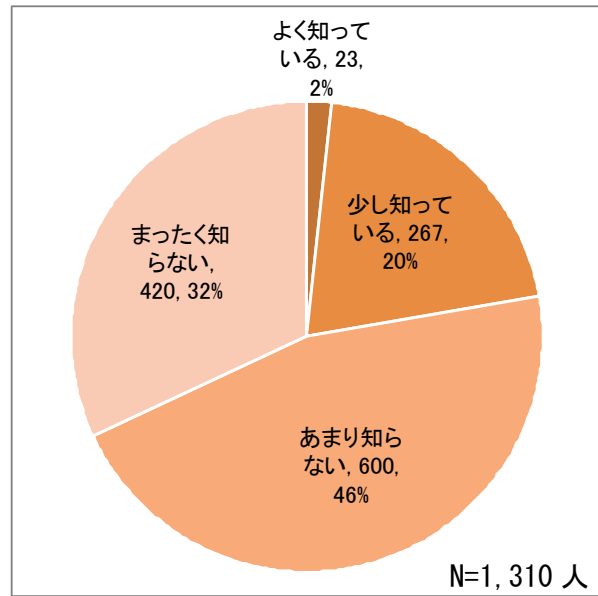


※評点は「満足度」の回答で「満足」を1点、「普通」を0点、「不満」を-1点、と配点、合計した値をそれぞれ回答人数で加重平均した値である。

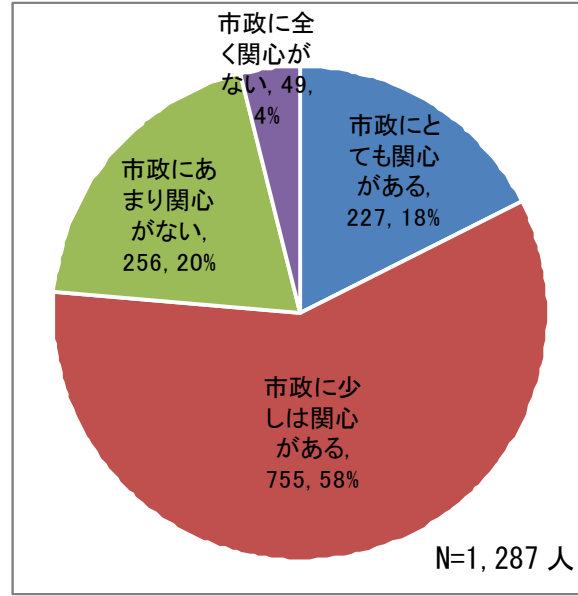
※評点は「重要度」の回答で「高」を1点、「普通」を0点、「低」を-1点、と配点、合計した値をそれぞれ回答人数で加重平均した値である。

③ 八代市の市政や施策について

・八代市では「八代市総合計画」のもと、行財政運営が行われていることの認知度

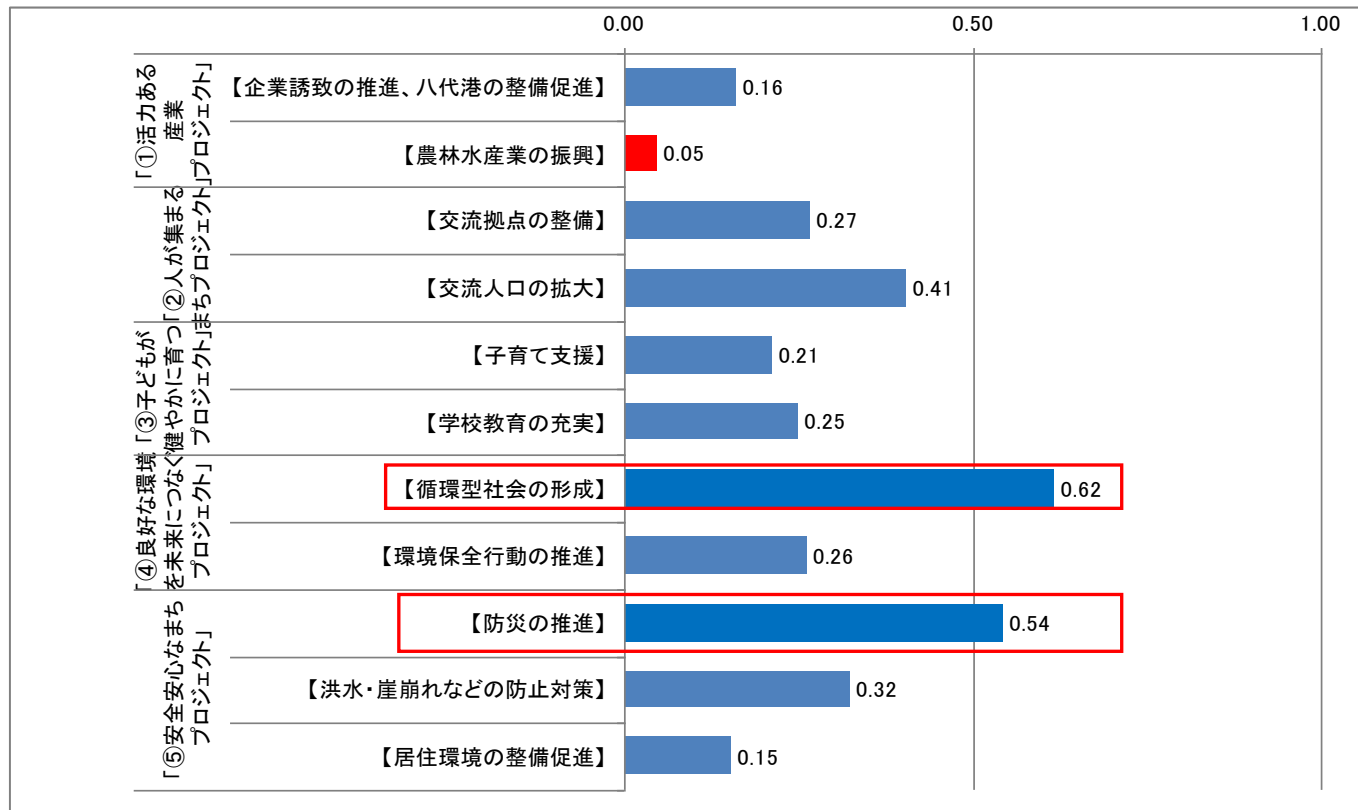


・あなたの市政(市の行っている業務)全般についての関心



④前期 重点事業の評価

- ・特に評価されているのは「循環型社会の形成」「防災の推進」である。
- ・一番評価が低いのは「農林水産業の振興」である。

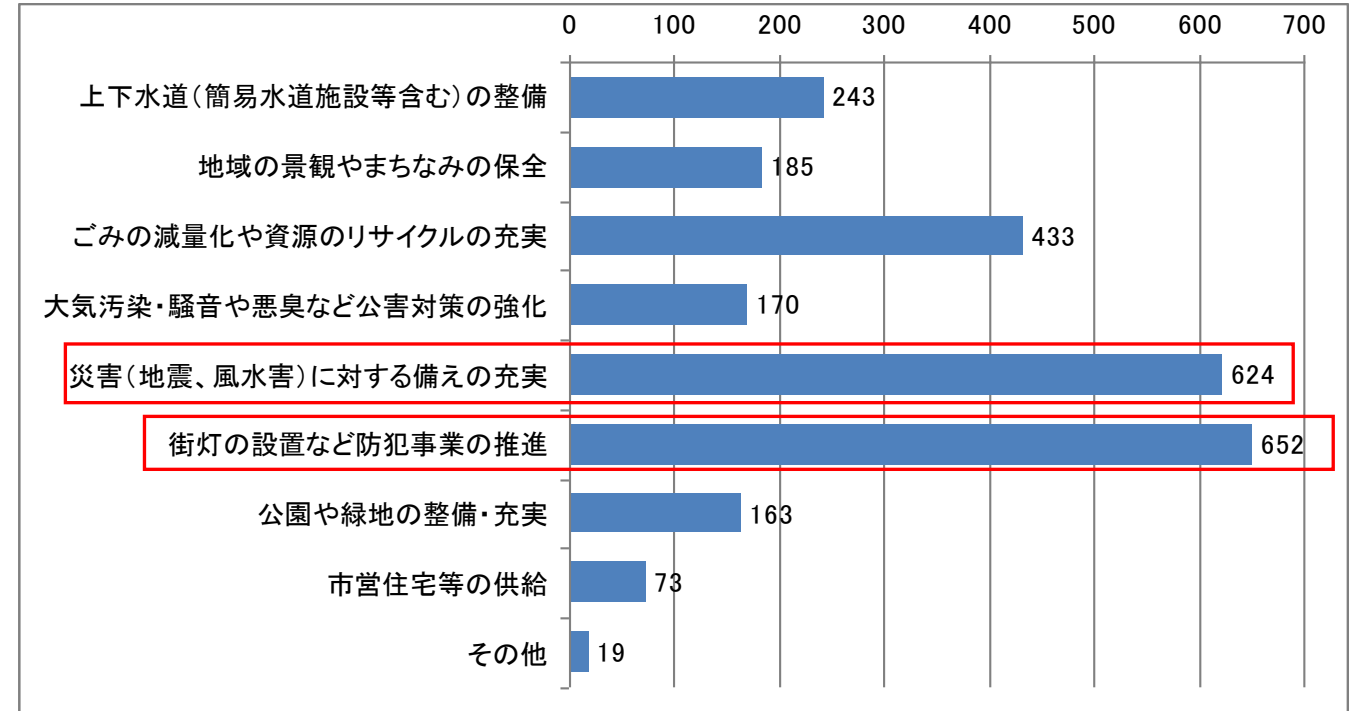


※評点は「評価」の回答で「評価できる」を2点、「少し評価できる」を1点、「わからない」を0点、「あまり評価できない」を-1点、「評価できない」を-2点、と配点、合計した値をそれぞれ回答人数で加重平均した値である。

⑤限られた財源の中で今後の八代市のまちづくりに特に必要な施策

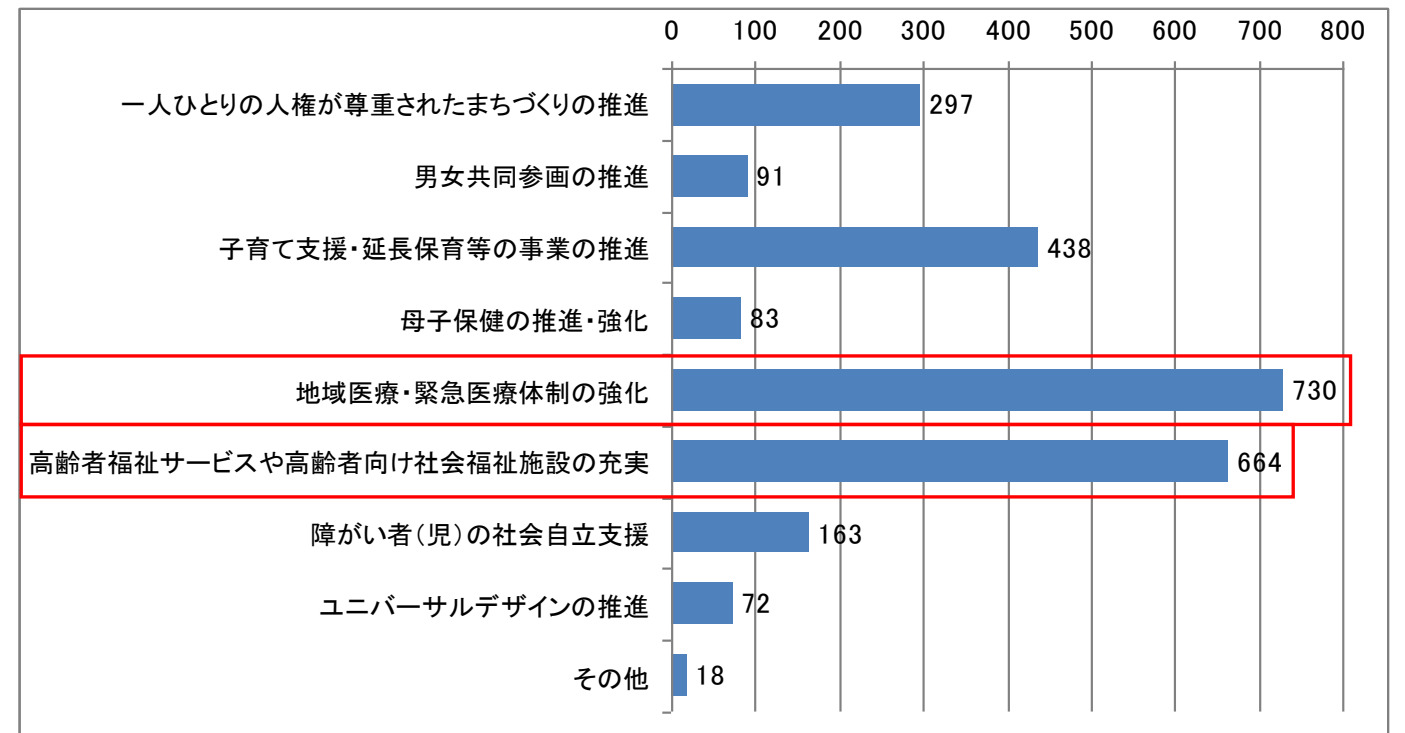
● 生活環境の整備について

- ・「街灯の設置など防犯事業の推進」、「災害(地震、風水害)に対する備えの充実」が特に高い。
- ・生活環境の整備については、防犯、防災に関する施策が特に求められている。



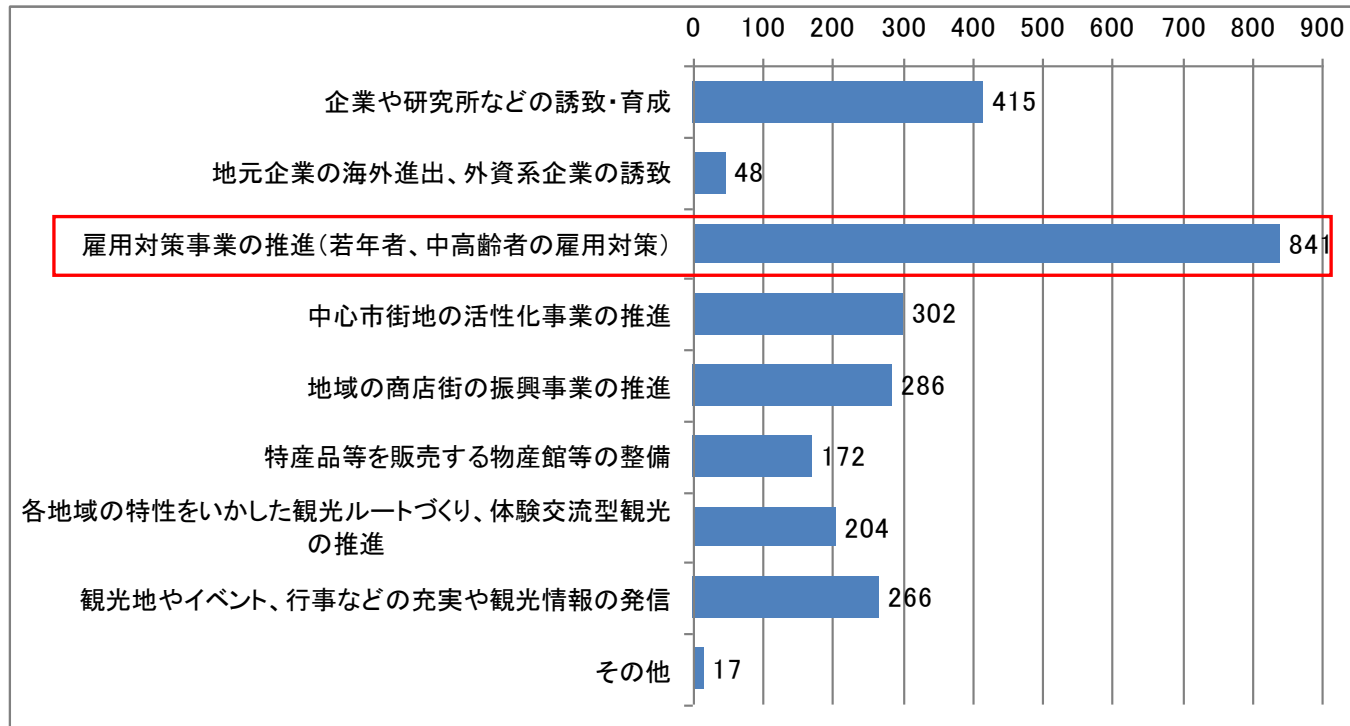
● 市民福祉の充実について

- ・「地域医療・緊急医療体制の強化」、「高齢者福祉サービスや高齢者向け社会福祉施設の充実」が特に高い。
- ・市民福祉の充実については、医療、高齢者に関する施策が特に求められている。



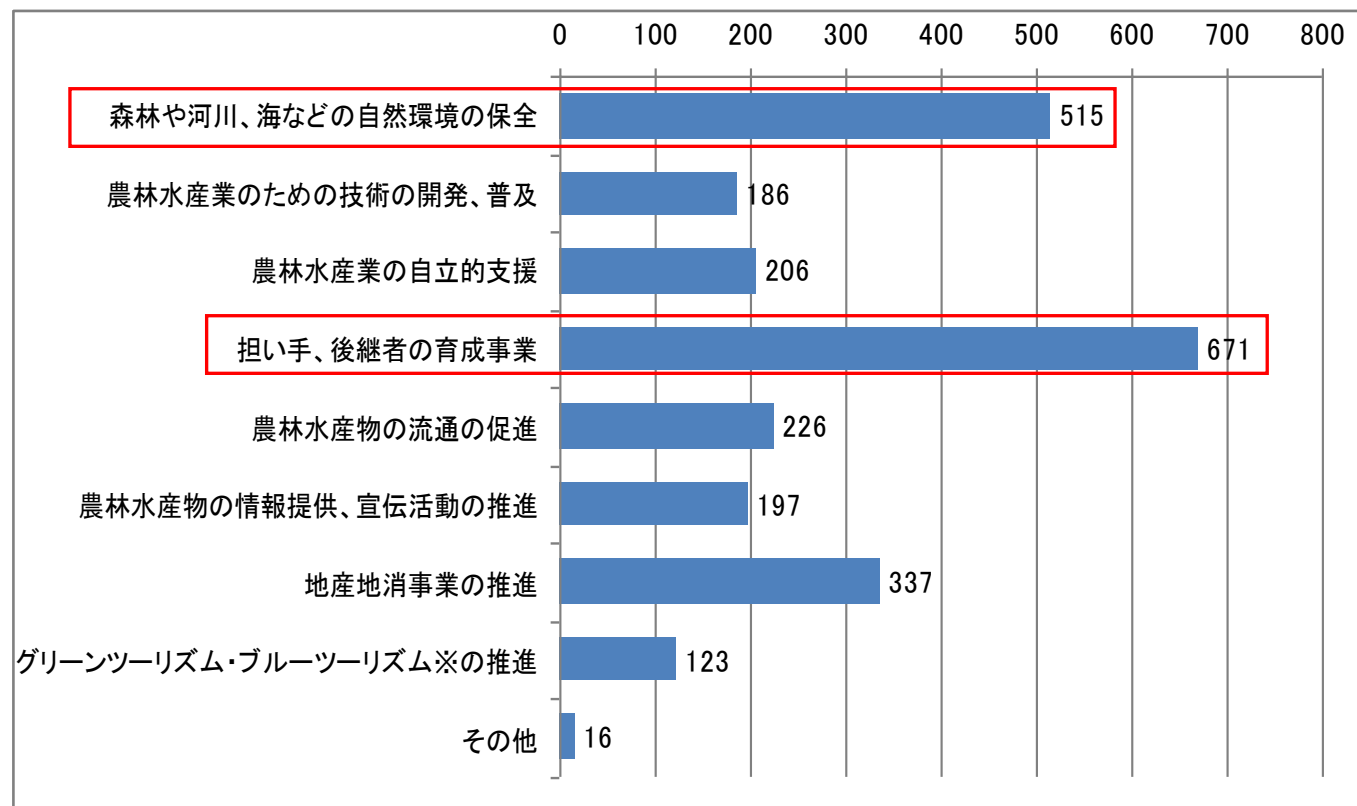
● 商工観光の推進について

- ・「雇用対策事業の推進(若年層、中高齢者の雇用対策)」が他の施策に比べて非常に高くなっている。
- ・商工観光の推進については、雇用促進が特に求められている。



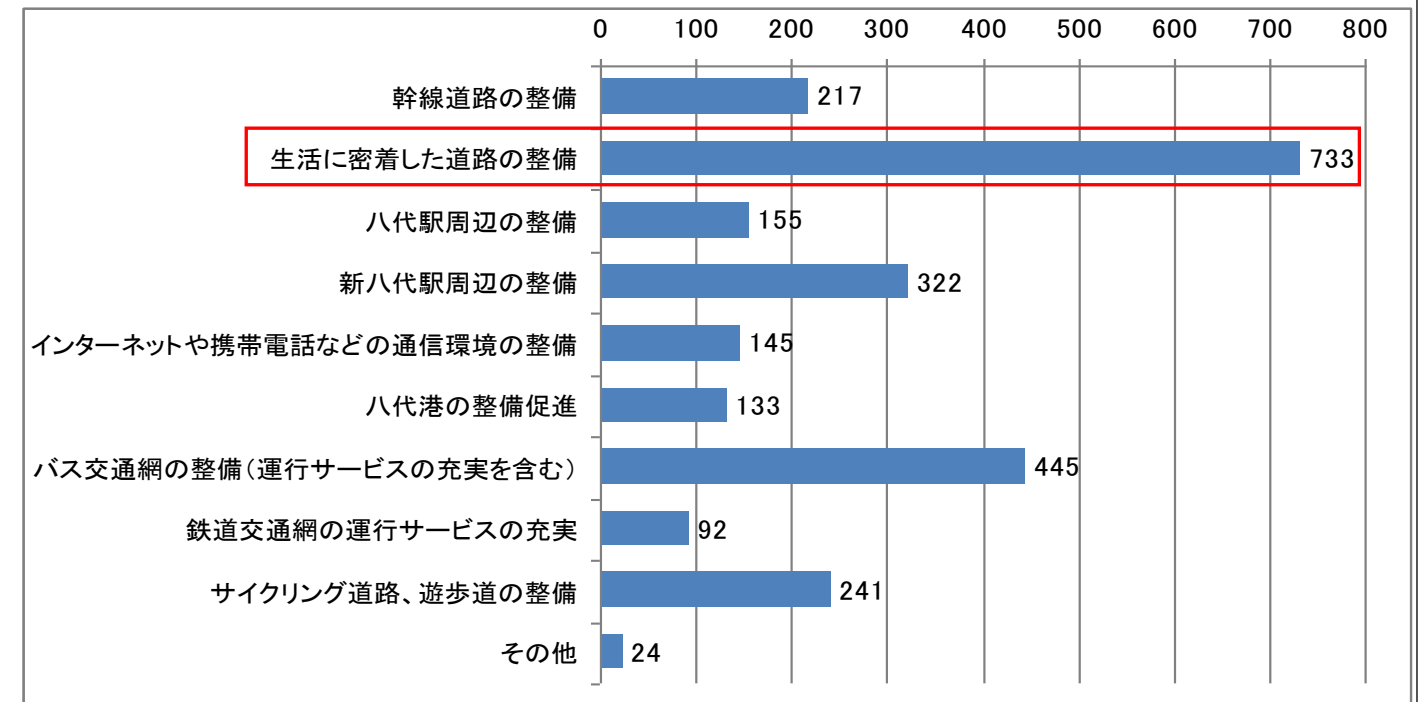
● 農林水産業の振興について

- ・「担い手、後継者の育成事業」、「森林や河川、海などの自然環境の保全」が特に高い。
- ・農林水産業の振興については、担い手と自然環境の保全が特に求められている。



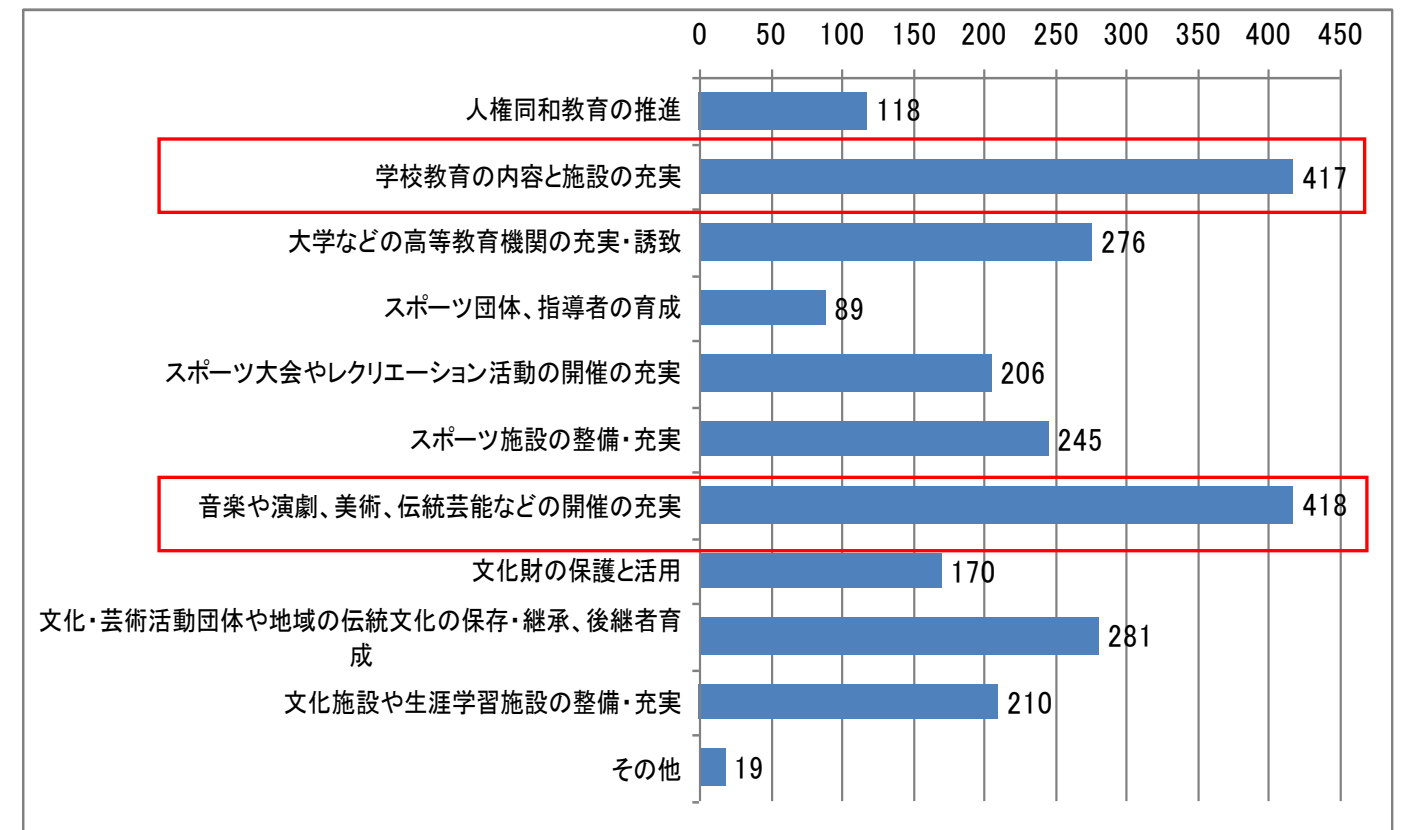
● 交通基盤、通信体系の整備について

- ・「生活に密着した道路の整備」が他の施策に比べ特に高くなっている。
- ・交通基盤、通信体系の整備については、生活道路の整備が特に求められている。



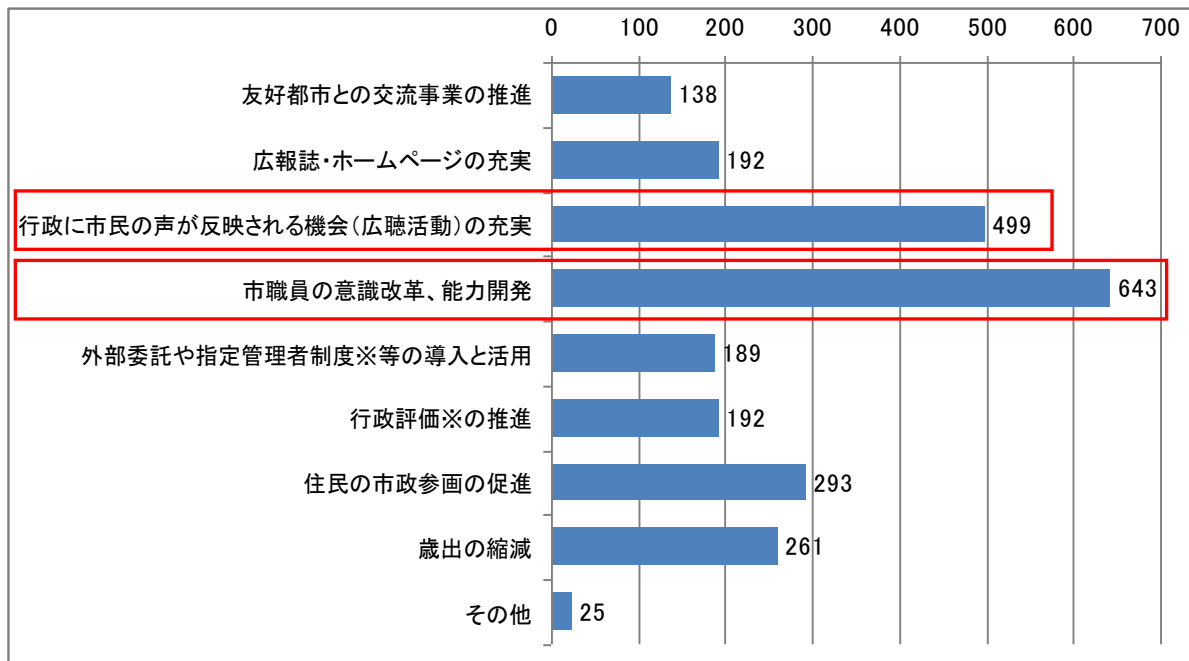
● 文化、教育、レクリエーション活動について

- ・「音楽や演劇、美術、伝統芸能などの開催の充実」、「学校教育の内容と施設の充実」が特に高い。
- ・文化、教育、レクリエーション活動については、教育や娯楽の充実が特に求められている。



● 行財政について

- ・「市職員の意識改革、能力開発」、「行政に市民の声が反映される機会（広聴活動）の充実」が他の施策に比べて高い。
- ・行財政については市職員の育成と市民の声の反映が特に求められている。



⑥平成17年の合併によって誕生した新八代市の変化

※合併後の転入者は未回答

・良くなったという回答は、順に「窓口での手続き業務の受けやすさの変化(20%)」、「行政職員の対応姿勢の変化(17%)」、「広域的なイベントや行事の変化(14%)」、「移動のための交通環境の変化(13%)」、「文化・スポーツ等での住民相互の交流の変化(12%)」である。

・悪くなったという回答は、順に「税金や施設利用料金の変化(23%)」、「雇用機会の変化(23%)」、「移動のための交通環境の変化(17%)」、「合併後に実施された公共事業による変化(13%)」、「合併前の地域個性の変化(12%)」である。

